

約150人が出席し盛大に祝う 「在校生に夢と希望を」

鹿児島高等技術専門校(鮫島純男校長)の創立30周年記念式典は19日、

鹿児島市のジェイドガーデンパレスに出席者約150人が出席して盛大に開催された。



功績を称え表彰状が贈られた記念式典
＝鹿児島市のジェイドガーデンパレスで

同校は、昭和46年4月7つの職業訓練所が合併し、鹿児島高等職業訓練校として発足以来、県下

として、職業能力の発展及び向上に寄与。常に「技能と知識を兼ね備える職業人」育成を掲げてきた中、これまでに900人以上の優秀な技能者を輩出している。

記念式典の冒頭、鮫島校長は「本校の修了生が郷土産業発展の担い手として活躍する姿を誇りに思うと共に、在校生には道しるべとして勇気と希望を与えてくれるものと思っています。今後も伝統を継承しつつ、関係各位一体となり本校発展に前進していきたい」と挨拶。

森山清隆鹿児島市職業訓練協会長も、先輩方の「(けい)眼と努力に敬意を表すると共に、」協会員一同で、技能の向上と伝統の匠の技を後世に

引き継ぎ行われた祝賀会では、牧瀬光明記念行

県地質調査業協会(西幸男理事長)は19日、鹿児島市の県市町村自治会館で地質調査技術講演会を開き、地下水の汚染などをテーマとして「環境と地質」の講演に会員ら200人が出席、受講者らは真剣に聴講した。

続いて、楡井久次城大学広域水圏環境科学教育研究センター長が「地球環境・地域環境・21世紀」新藤静夫千葉大学名誉教授・日さく顧問が「山体地下水・環境アセスメントの支店から」、福森静典道路維持課長が「道路計画と環境問題」について講演した。

この中で、楡井センター長が、日本列島全域で汚染が進み浄化の調査に

工期内の無事完成祈る

水産技術開発センター起工

県は19日、指宿市の今和泉漁港区域内で水産技術開発センター(仮称)起工式を行い、各官公庁をはじめ施工業者らが出席して、安全施工と工期内の無事完成を祈願した。

祈願祭では、祝詞奏上などに続き、刈り初めの儀を美奈海海洋開発(株)の海沼男社長、穿初めの儀を須賀龍郎県知事、最後に施工者を代表して小牧建設(株)の小牧孝社長と興南建設(株)の濱田信行社長が力強く杭打ちの儀を行った後、それぞれ玉串を捧げて工期中の無事故を祈願。

引き続き行われた起工式では、須賀知事が「活力と魅力ある水産資源を有効に活用し、21世紀における本県の水産業を支える魅力ある施設として期待している」と挨拶した。

同センターは、鹿児島市の水産試験場、垂水市の栽培漁業センター、指宿市の指宿内水面分場の3つの研究機能を再編・統合し、水産業の効率的な試験研究を行うもの。平成9年度から埋め立て工事を実施。本館棟や種苗生産飼育研究棟などの上屋整備を15年度末で終

了して、16年4月のオープンを目指す。総事業費は概算で100億円。

本体建築の施工業者は次の通り。

小牧建設・興南建設 J V (株)川路建設 (株)南組東建設(株) 有登建設 湯田建設(株) (株)高吉建設

水産技術開発センター(仮称)の完成模型

刈り初めの儀を行う肥海社長

指宿市今和泉漁港区域内の現地で

大成建設 TQB工法を開発

工期の大幅短縮実現

大手ゼネコンの大成建設(葉山晃児社長、本社・東京)はこのほど、都市部の渋滞が著しい交差点や、踏み切り渋滞の解消・緩和を可能とする新工法として、超高速施工法「Taisei Quick Bridge」を開発

した。

同工法は、施工場所に箱型の函体を敷設し、交通網を維持したままの状態、プレキャスト化した基礎と上床板を設置した後、あらかじめ斜めに傾度を調整した路面から、一気に降下させる。交差部分の施工を従来

の工法より飛躍的なスピードで施工するもので、開削工事に伴う交通渋滞の悪化の抑制を図り、工期の大幅な短縮を可能とした。

また同社では、騒音、震動、大気汚染などの大幅な削減が可能となったことなどの実証データを基に、環境にも配慮した画期的な工法として、今後発注官庁などに積極的に提案していくとしている。

また、同社では、騒音、震動、大気汚染などの大幅な削減が可能となったことなどの実証データを基に、環境にも配慮した画期的な工法として、今後発注官庁などに積極的に提案していくとしている。

また、同社では、騒音、震動、大気汚染などの大幅な削減が可能となったことなどの実証データを基に、環境にも配慮した画期的な工法として、今後発注官庁などに積極的に提案していくとしている。

また、同社では、騒音、震動、大気汚染などの大幅な削減が可能となったことなどの実証データを基に、環境にも配慮した画期的な工法として、今後発注官庁などに積極的に提案していくとしている。

また、同社では、騒音、震動、大気汚染などの大幅な削減が可能となったことなどの実証データを基に、環境にも配慮した画期的な工法として、今後発注官庁などに積極的に提案していくとしている。

また、同社では、騒音、震動、大気汚染などの大幅な削減が可能となったことなどの実証データを基に、環境にも配慮した画期的な工法として、今後発注官庁などに積極的に提案していくとしている。

建設資材の総合商社

人づくり、街づくり、夢づくり。

TOSAYA 株式会社 土佐屋

セメント事業部 099-226-5135
建設資材事業部 099-226-5132～5133
大隅支店 0994-44-5547
北薩支店 0996-53-0825
鉄鋼流通センター 099-262-3111
ヒューム管事業部・本部 099-226-5928～5931
加治木工場 0995-63-2170 出水工場 0995-82-1111
溝辺工場 0995-59-3894
土佐屋生コンクリート(株)・本部 099-268-8281
鹿児島市甲突町27番22号 099-226-5131